シニアＯＶ会との関わり

早瀬雅博

１．ＪＩＣＡ近畿シニアＯＢ会

２００１年５月、タイ南部スラタニでの２年間の任務を終え帰国した。帰国後すぐにＪＩＣＡ近畿シニアＯＢ会に入会し、総会や留守家族との懇談会などに参加した。当会では会報などを発行していたが、活動範囲が近畿５県にまたがるため、会員同士の意思疎通及び講演会や写真展などの活動が充分実施できていない状況にあった。翌年、ヨルダンに行く事になったので年末には脱会した。

２．ＪＩＣＡ兵庫シニアＯＶ会

ヨルダンでの２年半に亘る任務を終え、２００４年秋に帰国した。この年の３月にタイで一緒だった土井浩さんがＪＩＣＡ兵庫シニアＯＶ会を立ち上げられたことを知り、翌年４月に入会した。入会当時はメンバーも少なくＪＩＣＡからの支援も無かったため、交通費などの出費は全部個人負担であった。

従って、充分な活動も出来ないでいた。２００６年には坂元さん、田中さんと共に副会長になったが、私自身は名前だけの副会長であった。

３．ドミニカ共和国へ

２００７年春、ドミニカ共和国に行く事になった。会の財政事情を良く知っていたので脱会は偲び難く、２年分の会費を払って会員のまま派遣国へ行った。

従って、当時会長であった田中さんから長い会報を毎回メールで送ってもらっていた。私も「ドミ共便り」を書き、田中さんに送り、田中さんが纏め直して会報に載せて下さっていた。

４．会長に推されて

２００９年春、ドミニカ共和国から帰国後直ぐに土井さん、坂元さん、田中さんの３名から会長になるよう要請された。未だ、帰国直後だし、会長の器ではないと固辞したが、優秀な副会長を付けるからと言われ、断りきれず引き受けた。その副会長は冨永雅久さんであり、私の予想以上の働きをして下さった。

５．会長を引き受けてから

２００９年春から苦闘が始まった。メンバーの数が増えず、会の存続さえも危ぶまれていた。役員を中心にして細々と会の運営が行なわれていた。活動らしい活動は猪名川町のいながわ祭りでの写真展、神戸国際交流フェアでの写真

展、宝塚での講演会位であった。いながわ祭りの写真展は前日準備し、当日立会いと片付けを行っていたが、私達にとっては遠方であり交通費は自己負担であったため、何度か辞めようと思った。特に遠方の冨永さんは費用負担が大変であった。いながわ町の旅館に泊まり込んだことも有った。その後、猪名川町から猪名川町に関係の無い団体は締め出されたのでホッとした。

いながわまつりでの写真展

６．会の財政事情とＪＩＣＡからの支援

　メンバーが少なく財政事情が悪いため、活動時のメンバーの交通費は自己負担であったが、更に講演会などで収入を得た人は収入の１５％を会に寄付することになっていた。私は帰国後、明石シニアカレッジに入学し担当の先生の勧めで明石地区の各コミュニティー・センターでしばしば講演を行っていたため、いつも高額寄付者であった。この制度には不公平感があり後に廃止することにした。

　ＪＩＣＡボランティアの新規派遣者と帰国者の県庁訪問時の同行交通費も自己負担であったため遠方の冨永さんにはよほどの事情が無い限り、同行を頼まなかった。これはおかしいとＪＩＣＡと折衝し、交通費を出してもらうと同時にシニアＯＶ会の活動にも支援金を出して貰う事にした。

　県庁訪問時、派遣及び帰国ボランティアの入会勧誘を行い、帰国者にはメールで勧誘を行った。その効果があり徐々にメンバーが増え、又ＪＩＣＡからの支援を得て財政に余裕が出来、活動範囲が広がってきた。

７．神戸国際交流フェア

　毎年３月、神戸国際交流フェアが行われている。私が会長を引き受ける前はデュオこうべの広場でパネル一枚に各国の写真数枚とシニアＯＶ会の紹介の展示のみが行われていた。私たちのＰＲをどうするか冨永さんやメンバーの方々と色々ディスカッションした。２０１１年の交流フェアでは各国の写真を音楽入りパワーポイントで数秒ごと映像を変えシアターの中で流すことにした。シアターの中はやかましく、又音量を上げると隣のブースから苦情が入るなどのトラブルもあったが熱心に見て下さる方も多く、ある程度は成功したと思った。

翌年、交流フェアの企画運営会議のメンバーになり、フェアの運営についても提案できるようになった。シニアＯＶ会からは、スペース・シアターで「クイズ・デ・世界巡り」というタイトルでクイズ番組をやることにした。クイズ問題はＯＶ会の全メンバーから出してもらい皆で検討し厳選した。企画運営会議メンバーはハーバービジョン（大型スクリーン）をパソコンに繋いで使用した経験が無く、出来ないとの意見が多く説得するのに苦労した。しかし、協力者が出てきて実施できることになった。

鈴木さんの見事な司会と正解者への景品も有って評判は上々であった。このプログラムは現在でも続いており良かったと思う。

ハーバービジョンでのクイズ番組

神戸勤労会館での講演会

一方、フェア１日目に行われる神戸勤労会館でのイベントにも参加する事にした。ロビーでの写真展と講演会を実施した。写真展ではメンバーから多くの写真を出して貰い展示した。第一回の講演会は「世界の食文化」についてシニアＯＶ会メンバー２名、元青年協力隊員２名、留学生２名でパネルディスカッションを行った。ＪＩＣＡの伊禮所長の絶妙な司会により会場は盛り上がった。翌年は世界遺産についての講演会を行った。　フェアの企画、運営などに関しては今村さんや長野さんにも手伝ってもらいＪＩＣＡ兵庫シニアＯＶ会の評価も上がった。

８．ホームページの作成

２０１２年、ホームページを立ち上げることにし、鈴木さんが中心となって４月にＪＩＣＡ兵庫シニアＯＶ会のホームページが立ち上がった。又、その後、メンバーの体験談を纏める話が出てきたので、９名による１２編の体験談が出来上がり、ホームページに載せた。メンバーが増えたのでもっと多くの人達の体験談を載せる必要があると思う。

９．県立高齢者大学いなみ野学園での講演会

小海さんの働きにより、いなみ野学園で講演することが出来るようになった。２０１３年１０月に８名のメンバーが講演した。初めての試みであり、副学長が心配され、一度に９０分２名で夫々の任国での任国事情や体験談を話すことになった。４５分の講演時間では十分に説明しきれないことが分かったので、翌年からは９０分を一人で講演することにし、現在まで続いている。

最近では、いなみ野学園のみならず、宝塚、西宮、神戸、明石、加古川、高砂、姫路、赤穂など各地で講演会や写真展が数多く開催されるようになった。シニアＯＶ会の発展に嬉しく思っている。

１０．ひょうご応援団

青年海外協力隊を育てる会の兵庫県の会「ひょうご応援団」という会があり、シニアＯＶ会もメンバーの一員になっていた。本来、帰国した青年海外協力隊員の就職の世話をする会であったがＪＩＣＡ内に世話をする部署が出来て本来の目的が消失していた。色々なことを企画し実施したが、中でも園田女子大の田辺名誉教授による神戸の名所、旧跡めぐりは忘れがたいものである。

１１．親睦旅行

有志で海外旅行をする事になった。田中さん、冨永さん、橋本さんと私の４人で岡山県の日生から船に乗り海外旅行に出かけた。行く先は頭島。民宿「おやじの海」に泊まり、新鮮な魚介類に舌鼓を打ちながら飲み、シニアＯＶ会の将来について？大いに語り合った。翌日は島内を散策し、グランドゴルフをし、私の友人の家へ行き、昼から飲みながら焼き牡蠣を鱈腹ご馳走になった。素晴らしい親睦会であった。

頭島への親睦旅行

又、猪名川町で写真展の前日準備の時に旅館に泊まり、語り合ったことが今でも忘れられない。シニアＯＶ会の親睦旅行はそれ以降行われていないが、年一回位は親睦旅行を行ったらどうだろうか？メンバー間の距離がグッと縮まることが明白である。

猪名川町での親睦会

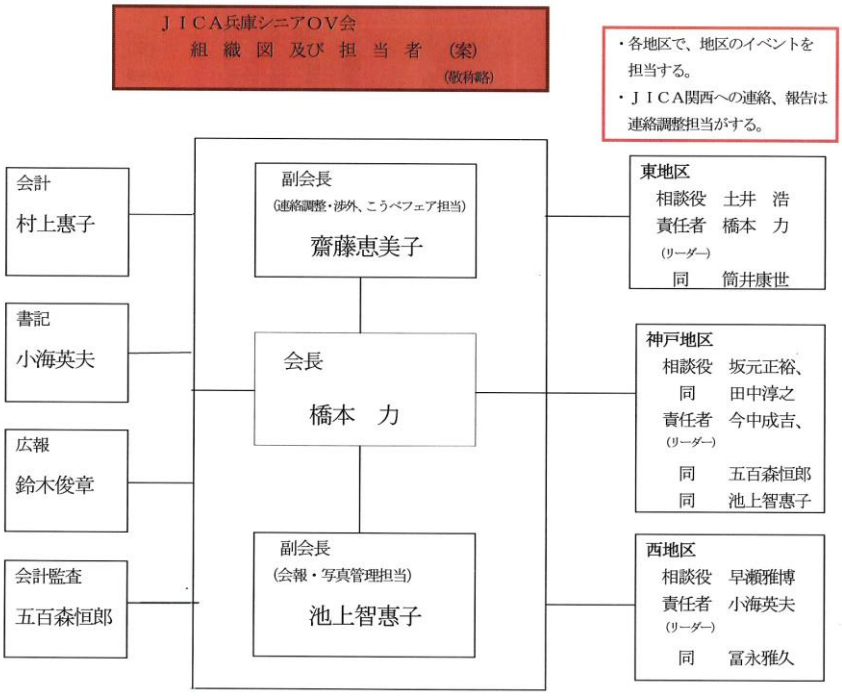
以上

シニアＯＶ会の思い出

橋本　力

JACA 兵庫シニア OV 会発足１５年を迎え心からお祝い申し上げます。先輩方から引き継いで平成 26 年度から２７年度の２年間会長を努めさせて頂きました。その間組織の確立のため、帰国者の貴重な体験を多くの市民に提供する為、「講演会」、「写真展」等を積極的に推進してまいりました。

現在は各会員が東地区、神戸地区、西地区で活動していると共に、もっと活動を広めていきたいと思っています。



世界各地で活動する
JICA シニアボランティア

宝塚写真展のご案内

JICA のボランティアは、昨年で 50 周年を迎え、今まで 47,000 人を超える方々が、世界中の発展途上国に派遣され、様々な分野で指導、支援にあたると同時に、其々の国の文化、社会状況等を学び、そして人々との草の根の交流を行って来ました。この度**宝塚ユネスコ協会**の協力を得て、世界で活動する兵庫県下の JICA シニアボランティア帰国者による写真展を開催することになりました。今回は国々の**民族衣装**を着た方々の写真を中心に展示を行います。また **JICA 関西**のご協力による**民族衣装の展示**および、23 日には**試着コーナー**も予定しています。同時に開催される「**ユネスコ世界遺産写真展**」と併せ、是非ご覧下さい。

日 時　2016 年　7 月 21 日（木）～26 日（火）
午前１０時～午後５時（最終日は１５時まで）
場 所　宝塚市立国際・文化センター
(阪急今津線・宝塚南口駅前 サンピオラ１番館３階)
お問い合わせ：　jhso-u@j12it.watson.jp　　入場無料

宝塚ホテル
宝塚南口駅
ローダリー
サンピオラ 1 番館
ここの3階
宝塚大劇
宝塚大橋
1番館
写真はイメージです

住所
〒665-0011
宝塚市栄町2丁目14番1号
サンピオラ1番館3階

主催：JICA 兵庫シニア OV 会
協賛：宝塚ユネスコ協会
後援：JICA 関西

宝塚写真展

学校おける講演会

リゾ鳴尾浜の写真展

神戸六甲道の講演会

シニアＯＶ会１５年の歩み

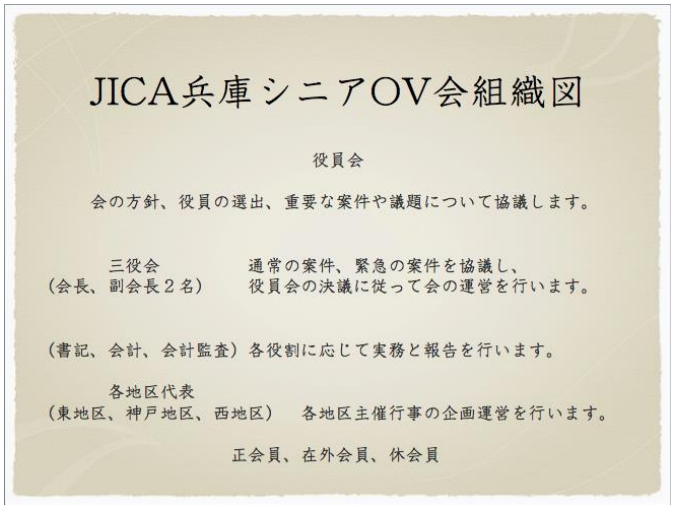
鈴木俊章

2016 年の４月から２年間会長を務めさせて頂きました事を心から感謝いたします。私は 2010 年から参加させて頂いておりますが、2012 年から国際交流フェアに参加するようになり、１日目は講演会や写真展、２日目はクイズ大会を開催しました。

講演会は明石市で坂元さんが公民館を回って講演の依頼を受けるところから始まり、いなみ野、加古川、高砂、姫路、赤穂と西へ広がっていきました。宝塚、西宮の写真展と講演会や六甲のセミナーも好評で、会の人数も年々増加していきました。

2016 年からは神戸まつりに参加し、青年海外協力隊兵庫県 OB 会との交流も活発化して JICA 関西との連携も充実したものとなりました。また、JICA 夏祭りにも参加し、日本的な屋台風の出し物で各国からの研修生にも楽しんでもらいました。

役員会の構成を会長、事務局長体制から、会長、副会長、書記、会計、監査に移行し、東、神戸、西の三地区をに分けてリダーを立てました。総会も春と秋の２回に分け、帰国報告の発表もしてもらい、新しい参加者が次々と入会しました。



ホームページの開設に加えFaceBookでも情報を公開する様になり、当会以外の方もイベントに参加する様になりました。表敬訪問で兵庫県庁や各市役所で新規派遣隊員や帰国隊員の歓送迎が出来たのも良い経験となりました。

講演会は、北は豊岡、南は淡路市まで広がって来ました。200名規模の講演も毎年複数回の依頼を受ける様になり、講師の養成も急務だと感じております。
青年OB会や近畿OV会との交流も進めて行く必要があるかと思います。